



足立区長定例記者会見

平成28年11月22日(火) 午後2時00分～
足立区役所 中央館8階 特別会議室

《 次 第 》

- 1 平成28年度12月補正予算について
- 2 足立の未来のキーワードは「協創」
30年後を見据えた足立区基本構想を策定しました・・・1
- 3 皆さんに本当に必要な支援をお届けするために
ひとり親家庭 実態調査を実施・・・・・・・・・・4
- 4 11月26日(土)点灯式 「光の祭典2016」
テーマは「華麗に彩る 足立の四季」・・・・・・・・9
- 5 そ の 他
- 6 質 疑

【担当】広報室 報道広報課 03(3880)5816

「美しいまち」は「安全なまち」

ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 足立区



足立の未来のキーワードは「協創」

～30年後を見据えた足立区基本構想を策定しました～

平成28年10月、30年後を見据えた区が目指すべき将来像と、その実現に向けた基本的な考え方を示した「足立区基本構想」を策定しました。

策定にあたっては、世代別の座談会(計158名)での意見や、区民の代表や学識経験者などによる「足立区基本構想審議会」からの答申を踏まえ、パブリックコメントを実施。多くの区民の皆さんに参画していただきました。

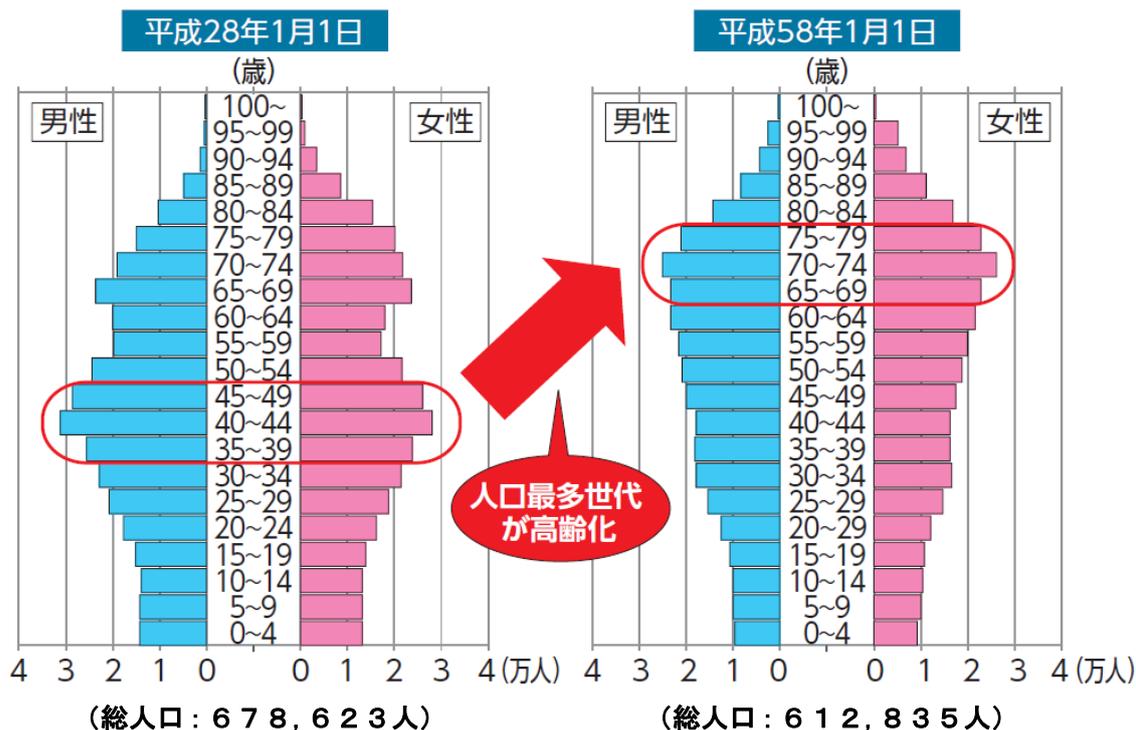
平成29年4月から施行されます。

足立区を取り巻く厳しい社会情勢

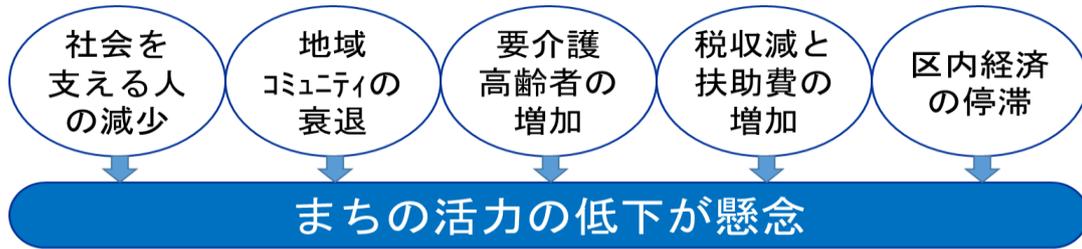
人口減少、少子・超高齢社会のさらなる進展

区の人口は、やや増加傾向にあるものの、平成27年に実施した将来人口推計(中位推計)によると、少子化や高齢化が進み、長期的には**平成32年の68.3万人をピークに減少**に転じるとされています。

また、この基本構想で想定している30年間で、**総人口は約9.7%減少**し、さらに、**高齢者1人を2.6人で支える「騎馬戦型」から、1.6人で支える「肩車型」に近づいていく**ことが予想されます。



人口構造の変化に伴う諸課題



解決に向けて

- ◆ 人口減少、少子・超高齢社会を支える「活力」の維持・確保
- ◆ 変化し続ける社会や課題に対応できるような「進化」が必要

目指すべき将来像

協創力 でつくる
活力 にあふれ **進化** し続ける
ひと・まち 足立

★将来像の実現に向けた4つの視点（基本的方向性）

- 【ひと】多様性を認めあい、夢や希望に挑戦する人
- 【くらし】人と地域がつながる 安全・安心なくらし
- 【まち】真に豊かな生活を実現できる 魅力あるまち
- 【行財政】様々な主体の活躍とまちの成長を支える行財政

新たな仕組みの基本的な考え方

従来＝「協働」

様々な分野で「協働」による取組みを推進してきた



「協働」の考え方が浸透し、区民主体の取組みが展開されている

+

今後＝新たな仕組み「協創」

多様な個が互いに認め合い、ゆるやかにつながることで、より一層力を発揮できる仕組み

⇒「協働」では行き届かない課題の克服や魅力の創出



機能させるためには

- ・ 夢や希望に向かってチャレンジする一人ひとりの意欲を引き出し、その実現をサポートする基盤を築く
- ・ 様々な個性や価値観を持つ人々が互いを認めあい、受け入れられる地域社会を構築する



新たな活力で一つ一つ課題を解決し、前進するプラスのスパイラルが生まれる

今後のスケジュール

- 12月4日（日） 座談会出席者を招き、協創についての意見交換を実施
- 平成29年2月に下記を策定
 - ・ 「足立区基本計画」（基本構想実現のための具体的な施策を体系的に定めたもの）
 - ・ 「足立区人口ビジョン」（人口構造の急激な変化を緩和するための目標値を設定）及び「足立区総合戦略」（人口ビジョンで設定した目標値を達成するための施策）

【問合せ先】

政策経営部 基本構想担当課長 山本 克広 電話（3880）5748

～皆さんに本当に必要な支援を届けるために～ ひとり親家庭 実態調査を実施

「未来へつなぐあだちプロジェクト」の一環で、今年度、ひとり親家庭向けのサロンをオープンするなど、ひとり親家庭の支援を強化しています。今後さらなる支援を行っていくにあたり、ひとり親家庭を対象にした実態調査を実施します。



なぜ「ひとり親」の実態調査を行うのか？

国や他の自治体によるひとり親家庭を対象にした調査結果では

- ・ひとり親家庭はふたり親家庭よりも世帯収入が低い家庭が多い
 - 経済状況を理由に後回しにしていること、諦めていることは？
 - 子どもにはどんな影響があるのか？
- ・自由記述は実態が伝わりやすいが、聞き取り調査までは実施していない
- ・「つながり」を重視した施策を行いたい但し先行調査結果では実態がわからない
- ・他の自治体の調査では、父子世帯のサンプル数が少なく、実態が見えない

【参考】厚生労働省「ひとり親家庭等の現状について」（27年4月20日）より

出典：厚生労働省ホームページ

(<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000083324.pdf>)

【ひとり親家庭の平均年間就労収入】

一般世帯：女性269万円 → **母子世帯：181万円**

一般世帯：男性507万円 → **父子世帯：360万円**

※一般世帯は平均給与所得の額

○母子世帯・父子世帯は平成23年度全国母子世帯等調査結果の数字、
一般世帯は平成26年労働力調査、平成22年分民間給与実態統計調査結果の数字

【ひとり親家庭の子どもの大学・専修学校等進学率】

全世帯：70.7% → **ひとり親家庭：41.7%**

(大学+専修学校(※1)) (大学+専修学校等(※2))

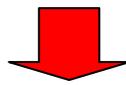
※1 専修学校＝専修学校(専門課程)

※2 専修学校等＝専修学校(一般課程・専門課程)＋各種学校

○ひとり親家庭は平成23年度全国母子世帯等調査結果の数字、
全世帯は平成26年度学校基本調査の数字

今年7月オープン
ひとり親家庭向けの「サロン豆の木」の参加者の声や状況
(10月22日までの8回で延べ88組112名が参加)

- ・「資格取得のための給付金を活用している人と話せて役立った」
→ 区の情報が、いつ、どんな場所にあれば伝わるのか？
- ・「区役所の窓口とは違い、サロンでは（支援員に）話しがしやすい」
→ 何をPRすると区役所が相談しやすい場所になる？
- ・父子世帯の方の参加はこれまでゼロ
→ 父子世帯はいったいどのような状況なのか？



足立区のひとり親家庭の現状を把握し、本当に必要な支援策を立案

調査のポイント

- 1 国や他の自治体によるひとり親家庭を対象にした調査を参考に、2,000世帯に対して実施
- 2 アンケート調査だけではなく聞き取り調査も実施
- 3 **父子世帯(※)**を**250世帯**抽出し、**専用の調査票**を作成
(※)ひとり親家庭対象の手当受給世帯約9,000世帯のうち約5% (約500世帯)

調査の概要

協働研究者

子どもや女性の貧困、ひとり親家庭、DVなどに焦点をあて実証研究を進める
立教大学コミュニティ福祉学部 教授 湯澤直美氏
社会政策、社会保障、女性労働問題、貧困・低所得に関わる問題に取り組む
法政大学大原社会問題研究所 教授 藤原千沙氏

協働内容

- ・実態をより正確に把握するための調査票作成
- ・聞き取り調査の実施
- ・結果のまとめと分析、施策にいかすための考察
- ・他の**調査結果も活用**し多面的な考察

対 象

母子世帯 1,750 世帯 **父子世帯 250 世帯** (計 2,000 世帯)

児童育成手当(※)受給世帯約 9,000 世帯 (母子 8,500 世帯、父子 500 世帯) から無作為抽出 (外国人世帯を含む)。

(※)児童育成手当＝ひとり親家庭を対象にした手当。所得制限あり。

調査内容

(1) アンケート調査

【実施内容】

2,000 世帯に調査票を送付し、無記名で回答後、郵送していただきます。

【アンケート項目 (40問程度)】

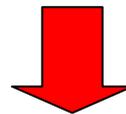
仕事、暮らし、困り事、心配事、ご相談できるひとや場所、区で利用できるサービスや支援の認知度について等

※調査票は「母子」、「父子」、「外国人」世帯それぞれ
専用のものを用意

(2) 聞き取り調査

アンケート調査協力家庭のうち、同意していただいた世帯と面談し、**聞き取り調査**を実施します。

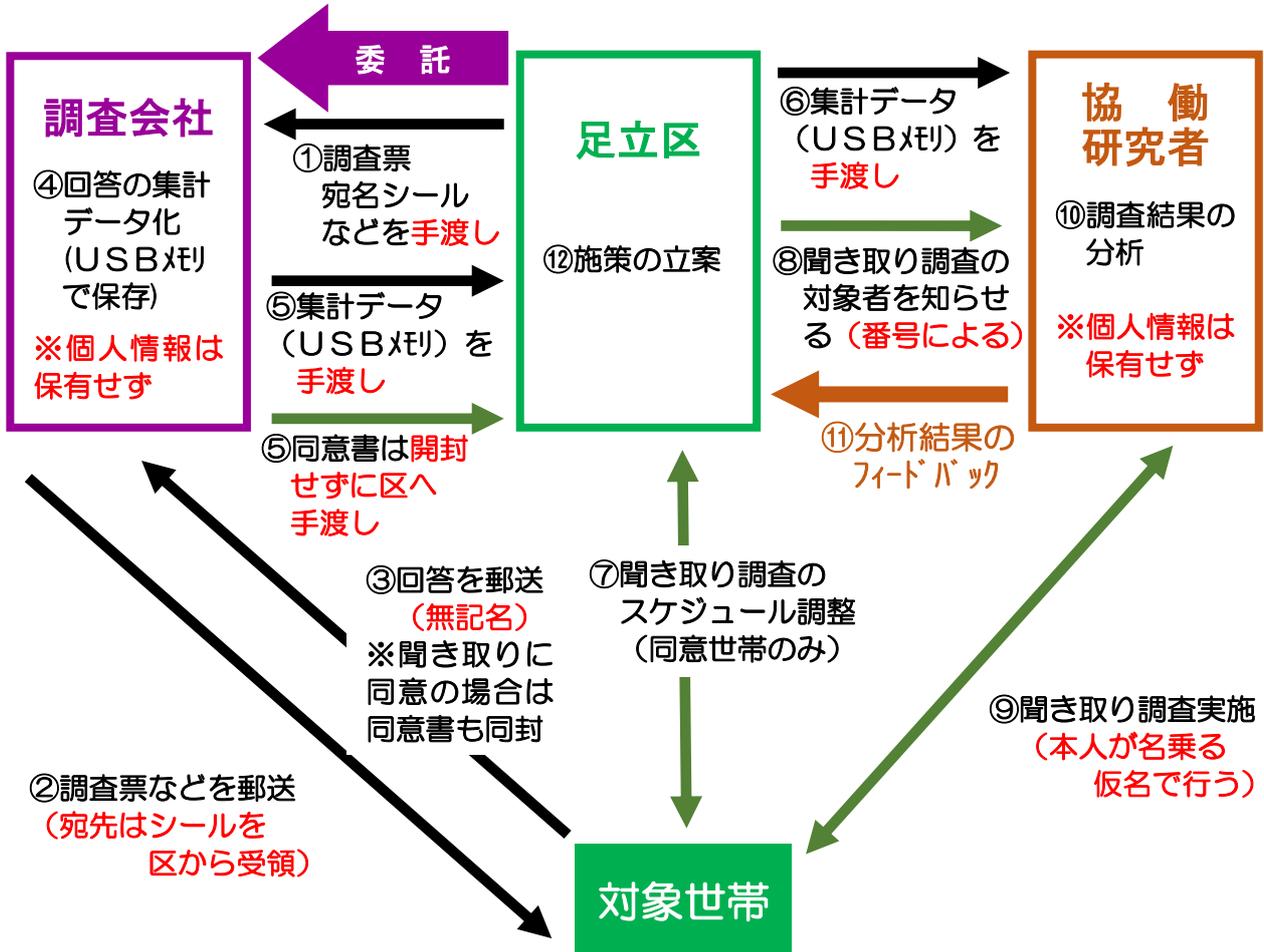
- 統計的な調査結果だけではないリアルな声を聞く
- 親とは違う視点を持つ **高校生以上のお子さんにも聞き取り**を実施



個々の状況に対し理解を深めることで、解決の糸口を見出し、より実態に即した支援策を届ける。

調査の流れと プライバシーの保護

→ アンケート調査の流れ
→ 聞き取り調査の流れ



世帯のプライバシーは守られます！

今後の 予定

平成28年12月 調査票の送付および回収
 平成29年 1月 聞き取り調査開始、データ集計
 平成29年 2月 速報値を未来へつなぐあだちプロジェクトに反映
 平成29年 5月 報告書発表

※アンケート調査は隔年で行い、今回聞き取り調査にご協力いただいた世帯には、毎年聞き取りを行う予定。8年間毎年見比べていくことで、単年度のみの調査では把握できない生活状況の変化を把握し、有効な支援策につなげていく。

11月26日(土)点灯式 「光の祭典2016」 テーマは「華麗に彩る 足立の四季」

足立区ならびに一般財団法人足立区観光交流協会は、11月26日(土)から12月25日(日)の期間、“足立の冬の風物詩”「光の祭典」を今年も開催します。

※画像はすべてイメージです

「光の祭典2015」事業評価診断では・・・



【よい点】

- 14年間継続してきた知名度がある
- メインの樹木8本の装飾は見応えあり
- 子どもが遊べるイルミネーションは非常にユニークで面白い

など



【よくない点】

- テーマ性・ストーリー性に欠ける
- 話題性がない
- フォトスポットとして使用できる装飾が少ない

など

だからこそ

プロポーザル方式で事業者を新たに選定

15年目の節目を迎え内容を**リニューアル**

メイン会場・元湊江公園が生まれ変わります！

テーマ性・ストーリー性に欠ける

会場を季節ごとに4つのエリアに区切り、「春夏秋冬」をイメージ！

話題性がない

幻想的な「光の海」が登場！

フォトスポットとして使用できる装飾が少ない

8ヶ所のフォトスポットを新設！

「春夏秋冬」でテーマ性・ストーリー性を！

生まれ変わる



★四季を感じられる
彩りのあるイルミネーション★

- ・メインエントラスから冬、夏、秋、最後は春の各エリアにゾーニングして、園内の木々を季節ごとに装飾
- ・おなじみの8本のメインツリーでは、今年から導入するビームライトの演出と春をイメージした曲によって、ツリーの迫力と春の暖かみを表現

話題を呼ぶ幻想的な「光の海」！

都内最大級

★42m×15mの「FUCHIE Tokyo Beach(フチエ東京ビーチ)」登場★



- ・25mプール約2つ分もの広さがある、海をモチーフにしたイルミネーション
- ・イルミネーションの中を歩ける回廊を設け、皆様に幻想的な青いLEDの海に
- ・おススメは、光のボートに乗って記念写真をパチリ！

新たに8ヶ所のフォトスポットを設置！

NEW



★自分だけの大切な瞬間を撮る★

- ・8ヶ所のフォトスポット「ルミナススポット」を今年から設置し、ハートや星のオブジェが大切な瞬間を素敵に演出
 - ※ルミナス(luminous)…英語で「光る」「輝く」を意味する形容詞
- ・その他のエリアでもSNSで自慢できるような、自分だけの「ルミナススポット」を探してみるのも楽しみのひとつ

他にも見どころいっぱい、夢いっぱい！



竹ノ塚駅を降りると
フルカラーLEDのツリーが！



「竹の塚けやき大通り」の街路樹が
豪華なシャンパンゴールドに！



元湊江公園にいるよ

新たなシンボリック
オブジェ・高さ3mの
巨大な光のクマ

イベント日情報

■点灯式・ミニステージ

平成28年11月26日（土） 午後4時30分～ 竹ノ塚駅東口広場

・セレモニーライブ Black Venus（ブラックビーナス）

■ステージショー・物産展

平成28年12月10日（土）・11日（日）

・足立区で活動する団体によるステージショー

・友好都市や地元商店街、町会・自治会による模擬店

※イベントの詳細はお手元のリーフレットをご覧ください。

【問合せ先】一般財団法人 足立区観光交流協会 事務局長 茂木 聡直

電話（3880）5853